

平成25年度

政策研究交流大会

彩の国さいたま人づくり広域連合では、県・市町村職員による政策研究の成果を発表し、その周知や参加者の交流を行う目的で政策研究交流大会を開催しています。

今年度は、総勢253名の自治体、企業、NPO、大学等の職員・社員・学生が政策研究交流大会に参加しました。

県内自治体職員による政策研究成果の発表後、参加者全員が、異業種交流として「2035年の埼玉の姿」についてワールドカフェ形式で意見交換を行い、地域課題の解決に貢献できる人材となるために必要な能力の向上を図りました。

- 1 日時：平成26年2月6日（木） 9：30～16：45
- 2 会場：埼玉県県民健康センター 2階大ホール
- 3 大会プログラム（詳細は[こちら](#)を参照ください。）
 - (1)勉強グループの活動紹介
 - (2)県内自治体の自主勉強グループと企業・NPO・大学の社員等との意見交換会
 - (3)市町村職員による「政策研究」の発表
 - (4)県・市町村職員による「政策課題共同研究」の発表
 - (5)自治体と企業等外部団体の参加者全員によるワールドカフェ（意見交換）
- 4 講評者：一般財団法人 地域開発研究所 主任研究員 牧瀬 稔 氏
- 5 参加者数： 253名 93団体
 - ・自治体 160名 38団体（県外自治体職員の7名・5団体含む）
 - ・企業等 69名 38団体
 - ・NPO等 16名 14団体
 - ・大学 8名 5団体

6 参加団体（50音順・敬称略）

（1）企業等

- ・曙ブレーキ工業 株式会社
- ・いいことクリエイション 合同会社
- ・株式会社 エフテック
- ・エム・ケー 株式会社
- ・キッコーマン 株式会社
- ・キッコーマンビジネスサービス 株式会社
- ・キャノンファインテック 株式会社
- ・株式会社 ぎょうせい
- ・クールジャパン機構（株式会社海外需要開拓支援機構）
- ・国分 株式会社
- ・株式会社 埼玉新聞社
- ・株式会社 埼玉りそな銀行
- ・敷島製パン株式会社
- ・島田建築事務所
- ・清水建設 株式会社
- ・株式会社 銭高組
- ・センコー 株式会社
- ・独立行政法人 造幣局
- ・ソフトバンクモバイル 株式会社
- ・大栄不動産 株式会社
- ・高田製薬 株式会社
- ・一般財団法人 地域開発研究所
- ・株式会社 ちふれ化粧品
- ・株式会社 テレビ埼玉
- ・凸版印刷 株式会社
- ・株式会社 トミタモータース
- ・ハイアールアジアインターナショナル 株式会社

- ・株式会社 P a l t a c
- ・東日本明星 株式会社
- ・株式会社 ビル経営研究所
- ・株式会社 プリケン
- ・プロロジス
- ・三菱マテリアル 株式会社
- ・みどり化学 株式会社
- ・株式会社 武蔵野銀行
- ・UR都市機構（独立行政法人 都市再生機構）
- ・UDトラックス 株式会社
- ・YKK AP 株式会社

（2）NPO等

- ・川越の魅力を育てる会
- ・特定非営利活動法人 クラブしっきーず
- ・特定非営利活動法人 埼玉映画ネットワーク
- ・公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会
- ・特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター
- ・公益社団法人 埼玉りそな産業経済振興財団
- ・埼玉県国民健康保険団体連合会
- ・埼玉経済同友会
- ・特定非営利活動法人 市民シアター・エフ
- ・特定非営利活動法人 ためぞうクラブ
- ・特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま
- ・プロコードコンサルティング
- ・特定非営利活動法人 わこう子育てネットワーク
- ・特定非営利活動法人 和光まちづくりNPOセンター

（3）大学

- ・聖学院大学
- ・帝京大学

- ・ 東京大学大学院
- ・ 獨協大学
- ・ 早稲田大学

(4) 県外自治体等

- ・ 帯広市
- ・ 神奈川県市町村振興協会、
- ・ 千葉県市町村総合事務組合
- ・ 大和市

※公表分のみ

7 企業・NPO・大学等からの参加者の主な感想

- ・自治体職員の人材開発機構である貴連合が行政職員にとどまらず、企業、NPOにも声掛けしたのは画期的。(NPO様)
- ・非常に活気のあるイベントで楽しく、今後の行政を活性化させる原動力になると感じた。(企業様)
- ・「政策研究交流大会」はとても素晴らしいと思った。行政職員が何を考えているのか知る機会は少ないので、このような場があると有り難い。(企業様)
- ・若手の行政職員の方々の力強い政策提言に刺激を受け、また、ディスカッションの方法や説明資料の作成、発表スキル等、大変勉強になった。(企業様)
- ・若手行政職員の熱意ある政策提言に刺激を受けた。(企業様)
- ・皆様の熱のこもった発表を聞き、異業種の方々と交流させていただき、とても刺激を受けた。埼玉の企業として、社会人として、新たな発見が多々あった。(企業様)
- ・若手行政マンの問題意識の高さに驚き。異業種交流で新たな発見があった。こうした他流試合の場が必要と感じた。(企業様、NPO様)
- ・これを機に、行政と民間企業が一体となった商品開発・マーケティングを進める事ができないか検討。(企業様)
- ・企業と行政の協働や人材育成について、当社としての取組や交流大会による関係構築を検討していきたい。(企業様)
- ・今回の取組を評価し、次年度の開催も期待。この取組は貴連合の1つの大きな柱となる。民間と県及び市町村を結び付けるのは、貴連合しかない。(企業様)
- ・全員が能動的に参加できる工夫を凝らした大会。自治体が地域独自の政策形成を行うことは重要。広域連合さんの活動にはエールを送りたい。(大学様)
- ・少しでも埼玉のためになれば幸い。今後とも連携していきたい。(企業様)

8 政策研究交流大会の様子



自主勉強グループ活動紹介



自主勉強グループと企業等社員との意見交換



自主勉強グループと企業等社員との意見交換



市町村政策研究発表（さいたま市）



市町村政策研究発表（新座市）



市町村政策研究発表（ふじみ野市）



チーム「オタ☆クキ」発表



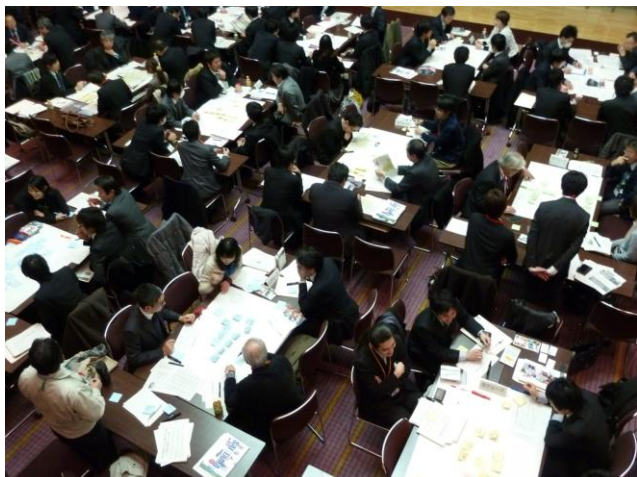
帝京大学山田専任講師による総括



チーム「FM ALL 埼玉」発表



プロコードコンサルティング代表松成氏による総括



参加者全員によるワールドカフェ



(財) 地域開発研究所牧瀬先生による全体講評



参加者記念撮影（自治体、企業、NPO、大学等の職員・社員・学生の150名）

